

愛媛県歴史文化博物館

No.48

# 歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

平成18年度テーマ展

## 海と島に生きる

昭和・暮らしの記録

美しい砂浜と段々畑。  
サカナを干すヒヤマ。  
暑さを防ぐためにつくられた涼み台。  
かつて当たり前だった風景から  
海に生きた人々の暮らしをみつめます。



▲裸の子どもたち 昭和22年

### WINTER EVENT

年はじめ、歴博ではじめよう！

### TOPICS

注連飾りはどのかたち？

### 学芸員調査ノート

- 消火手砂弾
- 河童（エンコ）の狛犬
- 愛媛県最古の漆塗り製品
- 坎離丸御薬法

### INFORMATION

歴史文化講座のご案内  
展示予告「おひなさま」  
利用のご案内

開館時間 午前9時→午後5時  
 休館日 毎週月曜日・12月29日～1月3日  
 但し、1月8日[月]、2月5日[月]は開館  
 1月9日[火]は休館  
 観覧料 常設展示観覧料が必要です

観覧料	大人(高校生以上)	小・中学生
常設展示	500円(400円)	無料

\* ( ) 内は20名以上の団体料金  
 \*65歳以上の方は無料



▲海藻を運ぶ神崎の女性 昭和20年代



▲津島農協の渡海船 昭和31年



▲子守りする日振島の子ども 昭和23年



▲宮浦のフトンダンジリ 昭和27年



▲宇和間の奴行列 昭和26年



▲浅海のおたた 昭和20年代

平成18年度テーマ展 日本財団助成事業

# 海と島に生きる

昭和・暮らしの記録

12月6日[水]～2月5日[月]

愛媛県は瀬戸内海や宇和海に面する長い海岸線を持ち、その長さは1625kmにも及びます。また、瀬戸内海から宇和海にかけての広い海域には、有人島、無人島合わせて大小200余りの島が点在しています。長い海岸線と多数の島、この二つの事実は、愛媛県に住む人々がいかに海と深く関わってきたのかということを想像させてくれます。このテーマ展では、そうした愛媛県と海との関わりを、村上節太郎という一人の地理学者が撮影した写真を通じて紹介します。

明治42年(1909)に現在の内子町平岡に生まれた村上氏は、昭和32年(1957)に愛媛大学文理学部の教授となり、同35年(1960)に「日本の柑橘栽培地域の研究」により理学博士の学位を受けるなど、柑橘類研究の第一人者として知られています。また、カメラをこよなく愛し、大正11年(1922)に県立大洲中学校(現大洲高校)に入学、以来平成7年(1995)に亡くなるまで多くの写真を残しています。その数は、フィルムだけでも推定20万枚、プリントを含めると36万枚にもなります。

この展示では、その膨大な写真のうち昭和初期から30年代の愛媛県の海や島々の生活を記録した写真を取り上げます。いずれもなにげない景観や生活の写真ですが、高度経済成長による急激な変化により、現在ではほとんど目にすることができなくなったものばかりです。本展示により、長い年月をかけて培われてきた海村や島の生活文化を見つめ直すことにつながれば幸いです。



▲幸港の渡海船 昭和27年

## 【展示構成】


- ▲ 忽那諸島の姿
- ▲ 芸予諸島の姿
- ▲ 港町のにぎわい
- ▲ 海辺の情景
- ▲ なりわいの海
- ▲ さまざまな船
- ▲ はたらく女性
- ▲ 海の子どもたち
- ▲ 海と祭り



# 年はじめ、歴博ではじめよう

## ①探してみよう！

### クイズラリー in “お正月”

常設展示室では、“お正月”と平成19年の“いのしし”のキーワードにあてはまる資料に  マークをつけて紹介しています。クイズに答えながら展示室を探検してみよう！！（申込不要）

1/6 [土]  
7 [日]  
8 [月]

① 9:00～16:30  
② 13:00～15:00

## ②作ってみよう！

### 年のはじめに小絵馬づくり

小さな絵馬に新年の願をかけて絵を描いてみましょう。（申込不要・材料代50円）



し め か ざ

観察しよう  


## 注連飾りは どのかたち？

**正**月にはほとんどの家が戸口に注連飾りを取り付けます。注連飾りは、その場所が神聖、特別な場所であることを示し、内と外とを隔てて邪悪なものの侵入を防ぐために用いられるのです。愛媛県内の注連飾りを見渡してみると、おおまかに東・中・南予によって形状が異なっていることがわかります。東予地方では「前垂れ」といって、一本の藁縄に隙間なく藁を垂らしたものが多く、これが中予地方になると「輪じめ」という丸く輪にして飾るのが一般的になります。南予の八幡浜地方でも「輪じめ」が一般的ですが、中予地方のものとは異なり、輪の最上部から藁を垂らすのではなく、輪の下部から二本の藁を垂らしたり、吊ったりしています。同じ南予でも西予市から宇和島市では、「門じめ」といって一本の竹から隙間なく藁を垂らす形が一般的です。これが愛南町や隣接する高知県幡多地域では「エビじめ」といって藁部分がエビのように太い形状のものが多く見受けられます。当館民俗展示室1では、各地の注連飾りを紹介していますので、地域による形状の違いを比較・観察してみてください。（主任学芸員 大本敬久）



松山の注連飾り



八幡浜の注連飾り



宇和島の注連飾り

歴史・文書

民俗

考古

これは、空襲に備えて作られた消火剤です。陶器製で砂が入っており、火の中に投げ入れると、割れて砂が飛び散り、消火の役目を果たします。日本は、昭和六（一九三二）年の満州事変を機に、中国での戦線を拡大し、同一二年には日中戦争を開始しました。さらに、同一六年には太平洋戦争にも突入し、第二次世界大戦に参戦しました。

戦争の長期化は、国内（統後）の人々にも大きな影響を与え、様々な統制や動員が強制されました。消火活動も、バケツリレーの訓練が各町内で行われました。県内では、『愛媛県史』によると、昭和二〇年（一九四五）年に、松山宇和島、今治等、各地が空襲に見舞われ、その死者は一、三四六人と記されています。この消火手砂弾がどれほど消火に効果をもたらしたかは分かりませんが、水に勝るとは思えませんが、恐らく初期消火に使用されたものと思われる。当時の人々の苦勞を知る貴重な資料と言えます。

主任学芸員 平井誠



資料名

消火手砂弾  
しょうかてずなだん

年代

戦中

サイズ

縦九cm×横一六cm×高二〇、五cm

所蔵

当館蔵

歴史・文書

民俗

考古

この狛犬は、頭に皿を載せた河童が鯛を抱えた形をしています。河童の狛犬は全国的にも珍しく、岩手県遠野市の常堅寺・長崎市の諏訪神社と愛媛県西予市明浜町高山の若宮神社の三例のみといわれています。若宮神社の御祭神である宇都宮修理大夫正綱が、いたずらをしようとした河童（地元ではエンコと呼んでいます。）を助けると、そのお礼にと、河童が毎日、鯛を持ってきたという伝説があり、それに由来して、この若宮神社の狛犬は河童の形をし

ています。また、高山地区では、この河童のご加護によって、地元住民は海では溺れないとも伝えられています。河童の狛犬は、明治一四（一八八一）年に若宮神社に製造・寄進されたもので、現在でも境内に祀られており、西予市有形民俗文化財にも指定されています。愛媛県内には数多くの河童伝説が残っていますが、県内を代表する伝説関係の有形資料として貴重な民俗文化財といえます。

主任学芸員 大本敬之



資料名

河童（エンコ）の狛犬（複製）  
かっぱ こまいぬ

年代

明治一四（一八八一）年

サイズ

幅34cm×奥行51cm×高さ63cm

所蔵

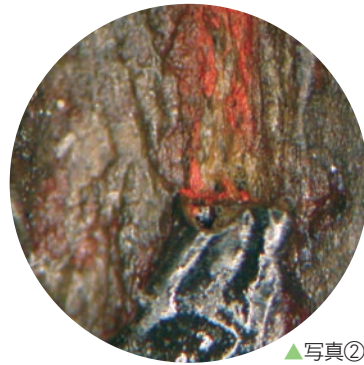
当館蔵

（原資料：西予市明浜町若宮神社蔵）

\*消火手砂弾は、歴史展示室4（愛媛県の誕生とあゆみ）に展示しています。  
\*河童（エンコ）の狛犬は民俗展示室1（愛媛の祭りと芸能）に展示しています。



▲写真①



▲写真②

資料名  
愛媛県最古の漆塗り製品  
(松山市船ヶ谷遺跡出土)

年代

縄文時代晩期

サイズ

最大長五、六cm、最大幅三、五cm

所蔵

愛媛県教育委員会蔵

昭和五〇年に発掘調査が行われた船ヶ谷遺跡からは、土器や石器のほか、土偶、岩偶、魚網など多彩な遺物が見つかっています。  
本資料は、そのうちの一つでアオキ製の木製品です。現状ではつまみのような部分と鏝のような部分だけが残っており、もとの形がわからないため使用目的は不明です。しかしよく見ると部分的に漆が塗られているのが分かります(写真①)。とくに、十字に彫った線の間などでは、赤色の漆の上に黒色の漆のついた状

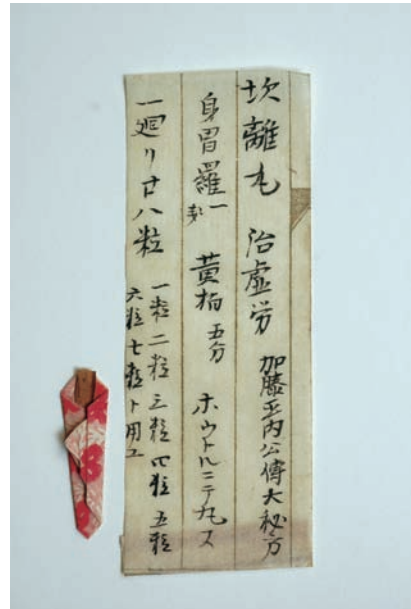
態が観察できます(写真②)。この漆に使われた顔料のうち、赤色には朱(硫化水銀)が使われていました。朱を漆に混和して赤色を出すことは、ウルシノキから採取し、ゴミなどを取り除いただけの生漆に混ぜても無理で、精製した漆ならびにそれを作る技術が必要になります。  
漆・漆器は磁器の(ceramic)に対して、(apan)と翻訳されるほど、日本を代表する工芸品です。愛媛においても二千五百年前の昔から、それは存在していたのです。

主任学芸員 亀井英希

資料名  
坎離丸御薬法

年代

江戸時代



サイズ

右：縦11.7cm×横4.3cm  
左：縦4.1cm×横1.2cm

所蔵

菊山逸夫氏蔵・当館保管

かつて日本人がミイラを薬として飲んでいたことをご存知でしょうか？これは、大洲藩主に奥医師菊山玄溪が調合した薬「坎離丸」の処方箋です。右から2行目の「身胃羅」は、古代エジプトのミイラです。十字軍遠征以降ヨーロッパでアラビアの万能薬として大ブームとなったミイラは、江戸時代にオランダから日本に輸入されて、將軍や大名の間で滋養強壯剤として流行しました。  
ところが、近年になって、オランダ語の音訳がミイラとよく似ている

ミルラではなかったのだからと言われています。ミルラは、ミイラの防腐剤として塗られていたアラビア産の樹脂です。中国では没薬と呼ばれ、鎮痛効果のある薬として輸入されていました。  
処方箋には、身胃羅と黄柏(写真を)を、ホウトルというパターのようなもので丸薬にしています。黄柏にもミルラと同様の薬効があります。「病は気から」と言いますが、ミイラとあわせることで、相乗の効果があつたのでしょうか。

主任学芸員 安永純子

\*愛媛県最古の漆塗り製品は歴史展示室1(愛媛のあけぼの)に展示中です。  
\*坎離丸御薬法は文書展示室にて12月より展示予定です。

## 歴史文化講座

### 歴史講座

- 講座番号 **5** 村上水軍の世界②  
 日時：12月10日(日) 13:30~15:00  
 講師：山内治朋(当館主任学芸員)
- 講座番号 **6** 近世地誌にみる愛媛の名所遊覧-『西條誌』と『愛媛の面影』から-  
 日時：1月28日(日) 13:30~15:00  
 講師：今村賢司氏(愛媛県生涯学習センター専門学芸員)
- 講座番号 **7** 日露戦争旅順戦と第11師団-野戦砲兵の記録から-  
 日時：2月11日(日) 13:30~15:00  
 講師：平井誠(当館主任学芸員)
- 講座番号 **8** 新谷藩のすがた  
 日時：3月4日(日) 13:30~15:00  
 講師：白石尚寛氏(大洲市立博物館学芸員)

### 民俗講座

- 講座番号 **12** 暦の基礎知識と年中行事-愛媛の歳時記-  
 日時：1月14日(日) 13:30~15:00  
 講師：大本敬久(当館主任学芸員)

### 文書講座

- 講座番号 **21** 西予地域の古文書を読む①・②  
 講座番号 **22** 日時：1月21日(日)・2月18日(日) 13:30~15:00  
 講師：別宮博明氏(西予市城川文書館職員)

- ◆受講料 無料(但し教材費等の実費は受講者負担となります。)  
 ◆申込方法 希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号を記入の上、郵送やFAXなどでお申し込みください。  
 ◆申込期限 講座開講日の1週間前。

### お申し込み・お問い合わせ

振興課 企画普及係  
 TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

## Exhibition Notice

テーマ展

# おひなさま

2007年2月20日(火)~4月8日(日)

春の訪れとともに、3月3日のおひなさまを飾る上巳の節句がめぐってきます。現在のようにおひなさまを飾るようになったのは江戸時代に入ってからと言われています。

博物館では、西条藩松平家の雛飾りから明治天皇・皇后の変わり雛まで、多彩なおひなさまを桃の節句にあわせて公開します。春のおだやかなひととき、博物館の愛らしいおひなさまに会いにきませんか。



明治天皇・皇后変わり雛 明治41年

個人蔵・当館保管

### 利用のご案内

#### ■開館時間

午前9時→午後5時  
 (但し入館は閉館の30分前まで)

#### ■観覧料(常設展示)

大人：500円(400円)  
 小・中学生/65歳以上：無料  
 ※ ( ) 内は20名以上の団体料金

#### ■交通案内

- 自動車  
 <松山自動車道>松山ICから西予宇和IC経由で約50分
- 公共交通機関  
 <JR>JR松山駅から(特急約1時間)JR卯之町駅下車、JR卯之町駅から徒歩(遊歩道利用)で約20分、車で約5分  
 <宇和島自動車>JR卯之町駅から歴史文化博物館行きバス博物館前下車



### Museum Calendar 2006.12-2007.3

● 休館日

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2	*	1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31	*	*	*
31	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3	*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	*	*	*	25	26	27	28	29	30	31
*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*